


実践教材・教具紹介一覧表

新居浜特別支援学校






| 番号 | 教材・教具名 | 紹介メモ |
|----|---|---|
| ① | <p>パタパタ はこぶよ</p>  | <p>遊びの指導「ビニールであそぼう」で使用した。ビニール袋の中にタフロンテープや紙吹雪を入れ、段ボール板で作った枠に固定している。ビニールの動きを楽しめるよう、ビニール袋を枠の2辺のみ取り付け、揺らしたときに空気が入りやすくしている。板には、カラフルなビニール袋で作った大小のボールを乗せて運んだり浮かせたりして遊べる。児童一人では持ちにくい大きさにすることで、自然と友達や教師と一緒に板を持ち、遊びを楽しむことにつながった。(小学部)</p> |
| ② | <p>ふわふわ かたつむり</p>  | <p>遊びの指導「ビニールであそぼう」で使用した。つなぎ合わせたビニール袋を送風機で膨らませ、殻からかたつむりが出てくる様子や、空気が抜けて殻に入っていく様子、ビニール袋の感触の変化を楽しめるようにした。5～6名の児童が同時に触って楽しめるような大きさのかたつむりを作成した。(小学部)</p> |
| ③ | <p>的当て用発射台</p>  | <p>遊びの指導「段ボールであそぼう」で使用した。切ったり貼り合わせたりしながら、形を変化させるという素材のおもしろさを生かすため、発射台、玉、的のすべてを段ボールで作成した。割り箸を引き抜くとゴムの力で玉が飛ぶ仕組みであり、投げた的を狙うことが難しい児童も、引き抜くだけで玉が飛ぶため、的当てに参加しやすくなった。狙う的に合わせて児童が発射台の位置や向きを変えるとといった遊び方の工夫も見られた。(小学部)</p> |
| ④ | <p>チャック一人でできるもん</p>  | <p>チャックの開閉動作を練習するための教材である。取っ手部分には、手先の巧緻性が未熟な生徒でもつかめるように大きめのキーホルダーを付けている。チャックを挟んでいる磁石の向きを変えることで、縦方向、横方向の開閉の練習が可能であり、チャックも長いものと短いものに付け替えることができる。連絡帳やジャンパーの開閉などにこの教材での手指の動きが応用できるよう、繰り返し課題を行っている。(中学部)</p> |

| | | |
|---|--|---|
| ⑤ | <p>調理実習（カレー作り）</p>  | <p>カレー作りの調理実習では、一人一人鍋を使って行う行程や、学級の友達と協力して調理するものなど、段階に合わせて作業をしている。そのため、生徒一人一人が必要な道具や材料を考えて作るよう、段階に合わせた手順書を作成している。一枚一枚のめくり式の手順書に慣れると、次の手順の流れが分かる一枚もの手順書の方が見通しが立ち、作りやすい生徒もいる。（中学部）</p> |
| ⑥ | <p>主語と述語の学習</p>  | <p>身近な動詞のイラストと文字で示した名詞・動詞のカードである。名詞と動詞のそれぞれのカードとシートに色を付けている。字を書くことが苦手な生徒は、カードを操作しながら学習することができる。また、繰り返し学習することができる。（中学部）</p> |
| ⑦ | <p>スケジュール表</p>  | <p>生徒がその日の流れを理解し、見通しを持って行動するように使用している。休憩、給食、終わりの会など、生徒が一日の中で区切りになっている場面まで、何をしなければならないかが理解できるようになっている。見通しを持つことで安定した状態で学習に取り組むことができる。（高等部）</p> |
| ⑧ | <p>呼吸の仕組み</p>  | <p>横隔膜の働きによって、肺胞の中に空気が入ってくる仕組みを説明する教具①（左）と、自分の肺活量を測定するための教具②（右）である。生徒一人一人が教具①を自作したのちに、教具②で測定した。呼吸の仕組みが分かりやすく学べ、生徒に好評であった。（高等部）</p> |
| ⑨ | <p>心臓の仕組み</p>  | <p>ポンプ2個を連結し、心臓の働きを可視化した教具③（左）と自分の心音を聞くための教具④（右）である。教具③は実際に水を入れて動かし、心臓の働きを学習した。教具④は生徒一人一人が自作した。（高等部）</p> |

| | | |
|---|--|--|
| ⑩ | <p>バランスのよい朝食について考えよう</p>  | <p>主食 1・主菜 1・副菜 2 の四つのお皿をそろえると、「バランスのよい食事」になることを示した掲示である。主食・主菜・副菜はそれぞれ黄・赤・緑のグループの食べ物を多く使った料理ということから、料理カードやお皿を 3 色に色分けし、「バランスのよい朝食」について視覚的に理解できるようにした。 (栄養教諭)</p> |
|---|--|--|

実践教材・教具紹介一覧表

新居浜特別支援学校川西分校

| 番号 | 教材・教具名 | 紹介メモ |
|----|--|--|
| ① | <p>「はらぺこあおむし」お話遊びセット</p> <p>(1) </p> <p>(2) </p> | <p>(1) 教師が椅子脚カバーや毛糸で作られたあおむしの教材を指に付けて児童の体をくすぐったり、児童自身が手に付けて動かしたりした。はっきりした色を使うことで、興味を持って触ったり見たりする児童が多かった。</p> <p>(2) 毛糸やナイロン等の素材の違う果物の模型を用意し、あおむしの口に入れる活動を行った。手でしっかりと果物を持ち、「あおむしに食べさせる」ことを楽しみながら取り組む児童が多かった。(小学部)</p> |
| ② | <p>得意な動きで鳴らせる楽器</p> <p>(1) </p> <p>(2) </p> | <p>生徒の得意な動き（引っ張ったり、わずかな力や動きで手を動かしたりする）を利用して、自分の力で楽器を鳴らすことが可能。</p> <p>(1) スライド式落下装置を引っ張ると、ビー玉が転がり鉄琴が鳴る。</p> <p>(2) 手を動かすと玉が転がり鉄琴が鳴る。</p> <p>音楽の授業や文化祭の演奏発表などで使用。自分の力で音を出すことができ、自発的な動きにつながった。(中学部)</p> |
| ③ | <p>ミシンの外部スイッチ</p>  | <p>フットコントローラーのジャック部分に挿して使う。タイマーを経由しており、ミシンの動く時間を6秒～60秒に設定できる。2つのスイッチを順番に押すと、ミシンが進む。細かいスイッチを順番に押すことが難しい生徒は、カバーをつけて1回押すだけで操作が可能。この外部スイッチを使うことで、どの生徒にもミシンの操作が可能になり、制作活動の幅が広がった。(高等部)</p> |